※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「詳説 世界史」（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十四訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に古代から近世までを中心に授業を行う。様々な歴史的資料やデータを通して、歴史の大きな流れを理解する。講義だけでなく、グループワーク、レポートの作成などを通して、歴史をより柔軟に、多角的な視点から考察する。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国だけでなく他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、現代世界とのつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国だけでなく、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	序章	世界史へのまなざし	a：人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に，人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 b：諸事象の来歴や変化に着目して，主題を設定し，身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント 発問評価	グループワーク
	諸地域の歴史的特質の形成	１．文明の成立と古代文明の特質	a：西アジア文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解する。 b：文明の形成に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し，問いを表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク 振り返りプリント
		２．中央ユーラシアと東アジア世界	a：秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 b：東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，中国の統治体制と社会や文化の特色，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク

※令和４年度以降入学生用

		3．南アジア世界と東南アジア世界の展開	a：仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 b：南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク レポート提出
2学期		4．西アジアと地中海周辺の国家形成 5．イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a：キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成などを基に，ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の歴史的特質を理解する。 b：西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク
	諸地域の交流・再編	6．イスラーム教の伝播と西アジアの動向	a：西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 b：諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因を多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

		7．ヨーロッパ世界の変容と展開 8．東アジア世界の展開とモンゴル帝国 9．大交易・大交流の時代	a:ヨーロッパ封建社会とその展開，宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 b：諸地域の交流の広がりとヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク

※令和４年度以降入学生用

		10．アジアの諸帝国の繁栄 11．近世ヨーロッパ世界の動向	a：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解する。 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 b：アジア諸地域・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸帝国の統治の特徴，アジア諸地域の経済と社会や文化の特色，日本の対外関係の特徴，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	 ペアワーク レポート提出
３学期	諸地域の結合・変容	12．産業革命と環大西洋革命 13．イギリスの優位t欧米国民国家の形成 14．アジア諸地域の動揺 15．帝国主義とアジアの民族運動 16．第一次世界大戦と世界の変容 17．第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	a：産業革命にはじまる資本主義体制と市民革命、第２次産業革命と帝国主義、第１次世界大戦から第２次世界大戦にいたる歴史の流れを、構造的に理解する。 b：産業革命と、２度にわたる世界大戦に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命と、２度にわたる世界大戦の要因を多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	 ペアワーク

※令和４年度以降入学生用

	地球世界の課題	18．冷戦と第三世界の台頭 19．冷戦の終結と今日の課題	a：冷戦の展開と第三世界の台頭について、構造的に理解する。また、産業構造の変容と冷戦の終結、今日の世界について、構造的に理解する。 b：冷戦の展開と終結、第三世界の台頭の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，今日の課題について多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 発問評価	ペアワーク レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度